

【公開シンポジウム】

栄養士・管理栄養士養成×先端技術

～メタバースを活用した遠隔教育モデル～

参加費
無料

後援：京都市

京都栄養医療専門学校では、文部科学省より「専修学校における先端技術利活用実証研究」の委託を受け、「栄養士・管理栄養士分野におけるメタバースを活用した遠隔教育モデル構築プロジェクト」を発足しました。今回は3名のスペシャリストをお招きし、基調講演とパネルディスカッションを実施します。

日時 | 2/15（水）15:00～17:00

会場 | QUESTION 4階 COMMUNITY STEPS

（京都市中京区河原町通御池下る下丸太町390-2）

申込 | 事前予約制 定員になり次第、締め切らせていただきます。

パソコンはこちらから

<https://kyoeimeta202302.peatix.com/>スマートフォンは
こちらからオンライン
開催あり栄養士・管理栄養士分野における
メタバースを活用した遠隔教育モデル構築プロジェクト

プロジェクトの趣旨・目的

栄養士・管理栄養士は医療・福祉・スポーツ・学校給食・企業・行政など、様々な分野で活躍する食の専門職であり、各分野において「給食経営管理」と「栄養指導」を行うことを主な業務としています。「給食経営管理」と「栄養指導」の能力は、栄養士・管理栄養士養成施設においてバランス良く教育して養成することが重要で、Withコロナのなか従来の対面授業に加えて、遠隔でも学習できるシステムを構築することが必要です。

また、養成施設で修得する知識や技術を実践に結びつけて理解する臨地・校外実習の規定時間数は国際標準と比べて大きく不足しており、現行の栄養士・管理栄養士養成カリキュラムでは、複数の分野で給食業務の経験を積むことが困難な状況です。

これらの様々な課題を解決するために、VRやメタバースなどの先端技術を活用した遠隔教育モデルを開発し、実証研究を通じて新しい教育メソッドを確立することにより、給食業務の実践力を高め、専門的な能力を有した栄養士・管理栄養士を養成することを、本プロジェクトの目的としています。



学校法人大和学園
京都栄養医療専門学校
校長 影山 弘典

より詳しい
内容はこちら▶

基調講演

テーマ

「給食現場における栄養士・管理栄養士に
求められる資質と人材育成の方法および課題」

JCHO滋賀病院 栄養管理室長。JCHO近畿四国地区事務所 統括部医療課栄養専門職を併任。

給食会社、病院において管理栄養士業務を経験後、2013年より滋賀病院にて勤務。

2015年、日本栄養士会会長表彰を受賞。滋賀県栄養士会 病態栄養学会 学術評議員を務めるほか、
栄養士・管理栄養士をめざす学生の実習指導にも取り組むなど、後進の育成に力を入れている。



基調講演

パネリスト

独立行政法人 地域医療機能推進機構
滋賀病院 栄養管理室長

田川 麗子 氏

パネルディスカッション

テーマ

「栄養×先端技術」
～Withコロナ時代における
栄養士・管理栄養士養成を考える～

パネリスト



中川 莉那 氏
株式会社LEOC
関西HC栄養管理部 執行役員

パネリスト



田原 麻里 氏
フリーランス
京都栄養医療専門学校
卒業生

ファシリテーター



増田 友輔

京都栄養医療専門学校
管理栄養士科 学科長

会場開催

限定30名

QUESTION 4階 COMMUNITY STEPS

(京都市中京区河原町通御池下下丸太町390-2)

【受付】14:30～



新型コロナウイルス感染対策

- ・入場前の検温、手指のアルコール消毒、マスク着用にご協力ください。
- ・発熱、咳などの症状がある場合は、ご来場をお控えください。
- ・今後の状況によっては、内容の変更や中止となる場合がございます。

オンライン開催

ZOOMを使用

お申込時に登録いただいた
メールアドレス宛に
参加用URLをお送りいたします。

申込方法

以下の申込フォームより必要事項を記入後、送信ください。

パソコンはこちらから

<https://kyoeimeta202302.peatix.com/>

スマートフォンは
こちらから



<お問合せ>

学校法人大和学園 京都栄養医療専門学校 先端技術利活用プロジェクト事務局

京都市右京区嵯峨天竜寺瀬戸川町18

☎ 075-872-8500